



弥生小コミュニティスクールだより

～地域とともにある弥生小学校を目指して～

地域の皆様、保護者の皆様、いつも弥生小学校の教育活動への温かいご支援とご協力をいただきありがとうございます。5月25日(月)、本年度第1回目となる学校運営協議会が開催されました。今回は、今年度の学校経営方針(グランドデザイン)の共有と、子どもたちの学校での様子、そして今後の地域連携について活発な熟議が行われました。また、授業参観と給食試食も行いました。久しぶりに地域の園長先生にお会いして、大興奮の子どもたちもいました。

1 令和8年度 学校経営方針(グランドデザイン)について

校長より、今年度のグランドデザインおよび学力向上・生徒指導の取り組みについて説明がありました。

- 学校教育目標:「豊かな心を持ち たくましく生きる子どもの育成」
- 合言葉:「Be the player」
- 本年度の重点的な取り組み:
 - 授業改善(単元内自由進度学習の推進): 子どもたちが自ら学び方を選択し、考え行動する力を育てるため、一斉指導との比率を「6:4」に見直して実施しています(昨年度の 8:2 からさらに自由進度学習の割合を拡大)。
 - 思考・学び方の習得:「けてぶれ学習法」や思考ツール「QNKS」を活用し、答えのない問題にも挑める力を育成します。
 - 自己肯定感の醸成:「あいさつ名人」「そうじの達人」「やさしさ名人」などの様々な表彰を通じ、自立に向けた自信を育みます。



2 委員の皆様からのご意見と熟議の様子(要旨)

今回の協議会では、新しくなった授業スタイルへの評価と期待、そして「あいさつ」を中心と

した地域での子どもたちの姿について、熱心な意見交換(熟議)が行われました。

授業スタイル・小中の接続について

- 委員より:「自分たちの頃や、以前子どもが通っていた頃と授業スタイルが全然違う。子どもたちが自分で考えて動く姿が良い」「子どもが実態に合わせて選択できる授業は素晴らしい。この主体的なスタイルが中学校へどう繋がっていくか、接続を考えていく必要がある」との声が上がりました。
- 学校より: 中学校(北陵中)とも密に連携を取りながら、6年間大切に育ててきた主体性を中学校以降の学びにもスムーズに繋げられるよう、準備を進めていきます。

地域での「あいさつ」と表彰のあり方について

- 委員より:「朝、あいさつを返してくれない子が少し増えたように感じて寂しい」「見守り隊や地域の方と協力して、登下校の様子も含めて地域みんなで子どもたちを表彰(名人への推薦など)する仕組みができないか」という提案がありました。
- 熟議の深まり: 地域ごとの取り組みの偏りや公平性といった課題(大人の線引きが子どもに与える影響など)についても率直に話し合われました。「遠慮せず、時間をかけて地域との関わりを深めていけば良い」「地区懇談会や PTA 役員会でもこの話を広げていこう」と、今後の連携に向けた前向きなアイデアが出されました。

3 会議を終えて

今回の協議会を通じ、学校の中での「主体的な学び(自由進度学習)」が着実に進んでいること、そして子どもたちの成長を地域全体で支えようとする委員の皆様の熱い思いを再確認することができました。特に「あいさつ」に関しては、学校内だけでなく、地域での見守りや PTA 活動とも連動させながら、地域全体で子どもたちの良い姿を価値づけ、認めていく仕組みを今後も熟議してまいりたいと思います。



弥生小学校は、これからも地域とともにある学校として、「自ら考え行動し、地域に貢献できる子どもたち」を育ててまいります。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

お気軽に学校運営協議会へのご意見をお寄せください。